

# 災害活動拠点の設営を支援する「EvaQuick」

村上 正浩 工学院大学建築学部まちづくり学科 教授

キーワード： 災害対応支援、標準化、キット化、防災教育教材

## 概要

EvaQuickは、従来の災害対応マニュアルを、ファンクショナル・アプローチの手法を用いて再構築した災害対応支援キットである。地域住民の活動拠点となる避難所、帰宅困難者の一時滞在施設、医療救護所の設営等の様々な利用場面を想定したキットを開発中である。

## アピールポイント

- ファンクショナル・アプローチを用いることで災害対応のプロセスと必要な活動を標準化できる。
- 活動に必要な手順書と資源・道具類をパッケージ化することで、専門家でなくても現場に居合わせた人で適切な対応行動をとることができる。
- 適切な行動喚起のための災害時利用だけでなく、防災教育教材としての利用も重視した工夫と設計を行っている。



## 利用・用途 応用分野

EvaQuickの構築ノウハウは、災害対応の様々な場面に応用できると考えている。

- 自助支援：在宅避難、企業BCP発動、など
- 共助支援：避難所・医療救護所・一時滞在施設の開設運営、など
- 公助支援：災害対策本部の開設運営、など

## 実用化の 課題

- 避難所開設キットについては都内の自治体(大田区、新宿区、北区、文京区、など)を中心に実際に導入されている。さらなる実用化に向けて、耐久性向上、軽量・コンパクト化、さらにいざという時に使えるよう、普段から目立つ場所に置いておきたくなるデザイン、見せたいくなるデザインにするための工夫が必要である。

## 関連情報

- 関連論文 避難所の開設と運営を支援する避難所開設キットの開発、日本建築学会2016年度大会(関東)学術講演梗概集、pp.885-886、2016。  
新宿駅周辺地域における帰宅困難者一時滞在施設開設支援手法の開発、第15回日本地震工学シンポジウム論文集、pp.3065-3071、2018。
- 関連 URL <http://evaquick.com/>



# 帰宅困難者一時滞在施設開設キット

村上 正浩 工学院大学建築学部まちづくり学科 教授

キーワード: 帰宅困難者、一時滞在施設、開設支援、図上演習、実働訓練

概要

『一時滞在施設開設キット』とは、災害時に帰宅困難者を受け入れる「一時滞在施設」を開設する民間事業者のため、施設の開設および運営マニュアルをもとに、ファンクショナル・アプローチの視点から、施設の機能ごとに必要とされる手順書、掲示物、様式、道具類を整理し、パッケージ化したものである。東京大学廣井研究室、合同会社グローバルリンク(代表:市居嗣之)およびSOMPOリスクマネジメント株式会社(代表:布施康)と共同で開発した。

アピールポイント

- ファンクショナル・アプローチを用いることで、施設の開設準備から帰宅困難者の受入、施設運営、閉鎖に至る一連のプロセスに必要な活動を標準化できる。
- 活動に必要な手順書および掲示物、様式、道具類をパッケージ化することで、要員は、施設運営の現場で詳細なマニュアルを確認しなくとも、適切な対応を取ることができる。
- 帰宅困難者の受入対応をゲーム感覚で疑似体験する図上演習ツール「KUG(帰宅困難者支援施設運営ゲーム、東京大学・廣井悠ほか)」と連動させることで、KUGを用いた図上演習⇒マニュアル・手順書の見直し⇒実働訓練という、段階を踏んだ施設運営の習熟が期待できる。



キットの構成例(上段)、キットを活用した一時滞在施設運営訓練の例(下段、新宿駅周辺防災対策協議会)

関連情報



KUGの構成例と図上演習の成果例  
<http://www.u-hiroi.net/>  
 (東京大学・廣井悠研究室)



EvaQuickシリーズ「避難所開設キット」の構成例と訓練例  
<http://www.evaquick.com> (EvaQuick)